

公益社団法人神奈川県助産師会勤務部会主催研修会
分娩期の助産師の技を学ぶ —CTG モニターから—

日時：2015年2月21日（土）13：30

講師：昭和大学医学部 准教授 松岡 隆氏

場所：会立とわ助産院 参加者：会員19名 一般25名

現在の分娩施設に就業する助産師において、必須ともいえるCTGモニターの判読知識について、その基本から事例解説までを少々欲張りなくらい盛りだくさんの内容で開催しました。講師をお願いした松岡先生は実際の臨床の場はもちろん、「産科医療保障制度」の中でもモニターの判読を実施されているまさにCTGのエキスパートの先生でした。



CTG判読の際は、

- ① 児心拍基線細変動の様相
- ② 胎児心拍数基線
- ③ 徐脈の有無とその様相

この3点をいつも判読し、記録をすることが大切であることを再々強調されていました。



参加者からは

- ・基本を振り返り症例検討が出来て良かった
 - ・今後も自己学習を行いたいと思った
 - ・モニターの振り返りの仕方が分かって良かった
 - ・内容は良かったですですがCTGをキチンと判読できる症例を挙げて欲しかったこと、私たちが判読できることを目標にやって欲しかった。
- といった声がよせられました。

次回のお知らせ

6月20日（土）神奈川県助産師会立とわ助産院にて
「フィジカルイグサミネーション」（講師：大石時子先生）
実際の演習を交えて、開催する予定です。